

新しい飼料作物奨励品種の紹介

草地飼料部 草地飼料チーム TEL:0229-72-3101

研究の目的

畜産経営の安定化のためには、自給飼料の増産が重要な課題となっています。畜産試験場では、場内で飼料作物の栽培試験を実施し、生育特性や生産性を調査して、県内における栽培に適した品種の選定を行っています。今回は、飼料用トウモロコシ3品種及びイタリアンライグラス1品種について、新しく奨励品種として選定されましたので紹介します。

研究成果

○飼料用トウモロコシ

- ・「パイオニア93日」（入手先：カネコ種苗, 全酪連, 雪印種苗等）
極早生品種の中で標準的な収量性・耐病性を持っています（表1）。また雌穂割合が高く、子実利用が期待できます。
- ・「エスパス95」（入手先：雪印種苗）
極早生品種の中で優れた収量性・標準的な耐病性を持っています（表1）。
- ・「ゴールドデントKD777NEW」（入手先：カネコ種苗）
中生標準品種の「スノーデント125T」と比較して優れた赤カビ耐性・標準的な収量性を持っています（表1）。

○イタリアンライグラス「タチマサリ」（入手先：雪印種苗）

標準品種の「はたあおば」と比較して優れた草丈・収量性を持っています。その他の能力は同程度です（表2）。

表1 飼料用トウモロコシの主要な品種特性

商品名	品種名	早晩性	メーカーRM	乾物収量	TDN収量	耐倒伏性	耐病性	赤カビ耐性
パイオニア93日	P9027	極早生	93	○	○	○	○	○
エスパス95	SL0746	極早生	95	◎	◎	○	○	○
KD777NEW	KD777N	中生	127	○	○	○	○	◎

◎:優れる ○:並

表2 イタリアンライグラスの主要な品種特性

品種名	早晩性	越冬性	草丈	耐倒伏性	耐病性	収量性
タチマサリ	早生	○	◎	○	○	◎

◎:優れる ○:並

利活用の留意点等

栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本とし、飼料用トウモロコシの栽植本数は、極早生品種7,500～8,000本/10a程度、中生品種6,000～6,500本/10a程度としてください。イタリアンライグラス播種量は2～3kg/10aとしてください。

より詳しい内容は「普及に移す技術」

第96号(令和3年4月発行)No.10～12をご覧ください。

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html